

広報くにみ

KUNIMI

3

March 2025

No. 620



Cover

今月の表紙は、地域おこし協力隊の皆さんです。地場産品の開発や農業への従事、地域教育など、さまざまな分野で活動しています。今月号は、新たな価値を創造し、挑戦し続けている地域おこし協力隊の皆さんの現在地や夢をお届けします。

Contents

- 02 … 【特集】 地域おこし協力隊
- 08 … 福島県市町村広報コンクール
- 09 … 異動の手続き忘れずに
- 12 … まちのわだい
- 14 … くにみ子育てひろば ほか

No. 01 / 生産する側になりたい

農業部門 ^{やまだ} 山田 岳 さん



山田 岳 さん
東京都青梅市出身。前職は食品メーカーに勤務。「食」の生産現場に携わりたい思いから令和6年4月より地域おこし協力隊として農家を目指し、研修中。

佐久間敏雄 さん
受け入れ農家として山田さんを指導。桃、りんご、あんぽ柿を生産。農業歴40年の大ベテラン。



食品づくりに興味があった山田さんは、食品メーカーで経理を担当していたが、生産現場に関わりたいという思いから農家を目指すようになった。青森県や秋田県で野菜と米の農業体験を重ねた中、果物が好きなことから果樹農家を志望。首都圏で開催された「就農フェア」で国見町のブースを訪れ、桃農家になったことのできる」と思い、「ここでならやりたかったことができる」と思い、地域おこし協力隊に応募した。

現在は、佐久間敏雄さん（森山）のもとで研修中。「長年やりたかったことができていたので作業すべてが楽しいです。天候に左右されることも農業をやっていると感じます」とうれしそうに話す山田さん。

1年目の今年は、1年間の作業の流れを覚えることを中心に取り組んでいる。2年目は、引き続き、技術や経験を積みながら、就農後の計画や自分なりの農業ビジョンの構築を進めていく予定とのこと。

受け入れ農家の佐久間敏雄さんに山田さんの印象を聞いたところ、「非常に真面目。もっと気楽にやってもらえれば。教えることが山ほどあるが、ひとつずつ覚えて、国見の桃農家になってほしい」と期待を寄せていた。

Future: **ミライのハナシ** —私がこの町でやりたいこと—



一人前の桃農家になって、支えてくれた方に恩返しすること

新参者の私を、快く受け入れてくれた国見町の方々へ感謝の気持ちを形にして、恩返しできるように、一人前の桃農家になっていきたいです。

No. 02 / 自然と向き合う
仕事に挑戦

農業部門 ^{なかじま} 中鳥 涼輔 さん



齋藤光弘 さん
受け入れ農家として中鳥さんを指導。桃、ぶどう、あんぽ柿を生産。農業歴30年の大ベテラン。

中鳥涼輔 さん
神奈川県横浜市出身。前職はエンターテインメント業界で、現在は地域おこし協力隊に就任。

「昨年までIT関連の仕事をしていて、ITの進歩を肌で感じるうちに、自然と向き合う仕事にチャレンジしてみたいと思うようになった」と話す中鳥さん。国見町との出会いは、首都圏で開催された「就農フェア」というイベントで国見町のブースに立ち寄ったこと。「就農までの細やかな計画や受け入れ体制が整っていたこと、なにより説明してくれた職員さんの情熱と温かさに強く惹かれ、ここなら新しい一歩を踏み出せるかも」と当時を振り返った。

中鳥さんは桃農家になるため、昨年4月から地



域おこし協力隊として、桃農家の齋藤光弘さん（石母田）のもとで研修中。今は桃の剪定を学んでいる。

「農業1年目は、外の作業に慣れていないこともあり、体力的に厳しきを感じることも多くありました。そこで、基礎体力を上げるために密かにトレーニングを続け、8kgの減量に成功しました。おかげで作業が以前よりもスムーズに進められるようになりました」と嬉しそうに話してくれた。

「農業は、知識、体力、技術、経験が必要で、農家さんの凄さを日々実感しています。剪定ひとつにも、3年、5年、10年先を見据えて作業していて、その視点が驚きでした。自分もその域に近づけるよう努力していきたい」と農家への敬意と今後の意気込みを力強く語った。

Future: **ミライのハナシ** —私がこの町でやりたいこと—



桃農家になり、個人販売に挑戦してみたい！

桃農家として一人前になるため、必要な知識、技術、体力、経験を積んで、将来的には自分の農園を持ちたいです。また、消費者に直接届けられる個人販売に挑戦してみたいです。

【特集】

地域おこし協力隊

なりわい
～生業の種を蒔く～

地方への定住・定着を促進する施策として地域おこし協力隊ができてから今年で16年。都市地域から住民票を移し、地域協力活動を担う協力隊を、今では1000を超す自治体が受け入れ、6000人ほどの協力隊員が全国で活動しています。

「地域おこし協力隊」という制度を何のためにどう活用するのか。この間、各地で試行錯誤が続いてきました。そして現在、「地域課題解決に取り組みながら自己実現していく」といった従来のイメージにとどまらない、個々のキャリア形成にも資するユニークな試みが次々と生まれてきています。

この町にも、さまざまな思いを抱いて活動している地域おこし協力隊がいます。地域ブランドや地場産品の開発、農業への従事、地域教育——。自分自身がやりたいことを本気で考え、地域課題と向き合い、未来につながる仕事を体現するために突き進む地域おこし協力隊の“現在”取材しました。



No. 05 / 生産者と消費者をつなぐ

関係人口創出部門 **渡邊 夏鈴** さん

「大学で観光を学んでいくうちに、地方の魅力を伝えるためには、まず自分で感じないといけないと思いました。」
 そう話してくれた渡邊さんは、東京都内の大学で観光やホスピタリティ（おもてなし、思いやり）の勉強を学んだのち、令和6年4月より国見町に移住し、地域おこし協力隊の関係人口創出部門として、地域資源を活用した事業に従事している。
 大学時代に2週間の地域おこし協力隊インターンで国見町を訪れ、農家さんの思いや地域資源の魅力に触れ、「もっと国見町のことを知りたい。大学で学んだことを活かせるのではないかな」と思ったとのこと。
 現在は、令和4年度まで地域おこし協力隊に在籍していた岡野希春さんと、果物の木オーナー制度をはじめとした、町内の農家や事業者と消費者をつなぐ事業を展開している。
 「地域資源を活用し、国見町を選んでもらうきっかけを作ること、より多くの人に国見町の魅力を感じてもらいたい」と話す渡邊さん。その姿は、地域の未来を切り拓く力強さに満ちている。



Future: **ミライのハナシ** —私がこの町でやりたいこと—



持続可能な観光商品を開発し、みんなが活躍するまちに！

今の課題は、集客力と協力していただける農家さんや事業者が少ないことです。ご興味・ご協力していただける方は、ぜひご連絡ください！



No. 03 / 関係人口創出部門 **伊藤 愛** さん

誰もが「クリエイター」に

地域おこし協力隊として着任して2年目を迎える伊藤さん。幼少期からものづくりが好きだった伊藤さんは、大学卒業後、県内のタウン誌の編集部勤務、雑誌制作に携わった。また、大学で農業に触れた経験がきっかけで、宮城県白石市で友人と農業を始め、合同会社を設立。農業デザイナーとして活動。その後、SNSで国見町の地域おこし協力隊の募集を知り、「デザイナーのスキルで地域に貢献できる」と感じ応募。初年度は、町のPRを目的とした印刷物の制作に注力し、今年度はクラフトやアートのワークショップを開催している。
 「ものづくりは、ハードルが高いイメージがありますが、やってみると意外とできるような感じがし、自信に繋がります」と話し、誰もが気軽に作り手になれる場の提供を目指している。また、国見町には、若者同士が交流できる場が少ないと話し、若者が週末に集える拠点づくりに取り組むたいという熱い思いを抱いている。地域に新たな風を吹き込む伊藤さんの挑戦は続く。



Future: **ミライのハナシ** —私がこの町でやりたいこと—



誰もが気軽に「作り手」になれる場を提供したい！

週末に楽しめるワークショップの拠点を作り、任期終了後も機会を提供し続けたいです。



No. 06 / 近い距離感で教育できる楽しさ

放課後塾ハル **濱村 和生** さん



国見町は、子どもたちの学力向上や探究力の習得を目指して、3年前に「放課後塾ハル」という公営塾をスタート。当初は中学生のみで、現在は小学生も通えるようになっていく。
 全国的にも数少ない公営塾で、私塾と学校の間のような教育に携わりたいと思い、地域おこし協力隊として放課後塾ハルの講師となった濱村さん。講師の鈴木涼太さんと二人で運営している。
 今年度は「学びの苦手を楽しいに変換」をテーマに、各教科をゲーム形式や対戦形式で出題するなどして学習をサポート。「最初は無理と言っていた生徒がやってみようかなに変わり、最後はやってみてほしい変わったんです」と、成長を身近で見られてうれしそうに話す濱村さん。また、探究コースでは、子どもたちが考案した町の新名物が、町内事業者の協力のもと完成することに。3月9日の「クニミノホマレ」というイベントで初お披露目と販売会が予定されている。
 子どもたちの可能性を広げ、「学ぶことへの自走」を作り出すため、濱村さんはこれからも走り続ける。

Future: **ミライのハナシ** —私がこの町でやりたいこと—



小学生から高校生が探究できるまちに！

放課後塾ハルには小学部と中学部がありますが、高等部がありません。高校がないこの町だからこそ、高校生が探究できる機会を作っていければと思っています。



No. 04 / 芸術で広がる世界、選べる未来に

関係人口創出部門 **原田 つむぎ** さん



日本大学芸術学部演劇学科を卒業後、2つの劇団に所属し、舞台俳優と衣装家として東京都を中心に活動する原田さん。祖父が町内在住で幼い頃から何度も国見町を訪れていた。国見町のオープンな雰囲気と惹かれ、令和5年4月に移住し、地域おこし協力隊として2年目を迎える。
 昨年度から、SNSで町の魅力を発信する企画「ふたつの空と、いくつもの私と」を開始。今年度は藤田商店街の空き店舗を借りて、芸術と交流の場を開くための準備中。そこを拠点とした演劇部を創設させ、15名のメンバーと共に1年後の公演を目指している。
 原田さんが大学進学で上京した際、地方と都市部での情報や体験の格差を痛感したという。「都市部には、さまざまなバックグラウンドやアイデンティティを持った人と触れる機会が多く、情報も選択肢も多い。幼少期から触れていたら、違う道に進んでいたのかもしれない」と実体験を話した。
 「演劇の分野に限らず、私が町内で活動すること、いままでなかった選択肢を皆さんに提供できればと思っています」と話し、多くの人々が新たな体験を共有できる未来を描いている。

Future: **ミライのハナシ** —私がこの町でやりたいこと—



芸術を身近に感じられる場所を作りたい！

最近、藤田商店街の空き店舗を借りました。下水道や電気設備など、ハード面の課題はありますが、ここを拠点に、演劇をはじめさまざまな芸術を皆さんに提供できればと思っています。





この地に芽吹く、
新たな可能性。

地域課題に向き合いながら、自分自身の可能性を広げる地域おこし協力隊。彼らの活動が一步步実を結び、地域とともに成長していく姿は、多くの人々に希望を与えています。

地域に新たな価値を生み出す活動が、これからどのような形で芽吹いていくのか、大いに期待されます。

今後も地域おこし協力隊の挑戦は続きます。その姿勢と熱意が地域をより豊かにし、新たな可能性を切り拓くことでしょう。



放課後塾ハル × 地域おこし協力隊 イベント

「クニミノホマレ」

放課後塾ハルの塾生（中学生）のアイデアを商品化した新名物の販売や、地域おこし隊員の今年度の活動報告会を実施します。

日時 3月9日(日) 午前10時から午後3時

会場 道の駅国見あつかしの郷

内容 ①放課後塾ハルの塾生が1年をとおして、国見町の新しい名物として考案した商品の販売会
②地域おこし協力隊がこの1年間の活動を発表
③町自慢の飲食物の販売会

【クニミノホマレに関すること】

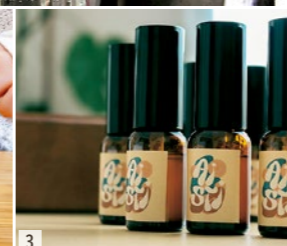
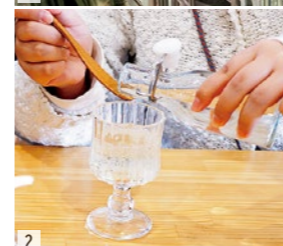
国見町公営塾「放課後塾ハル」

☎ 050-5482-3340 MAIL kunimi_halu@foundingbase.jp

【地域おこし協力隊の報告会に関すること】

国見町企画調整課総合政策係

☎ 585-2217



- 1_町で採れた植物を蒸留してアロマオイルを抽出中
- 2_蒸留水とりんごシロップと炭酸水を使って香り高いドリンクを試作
- 3_「AISTI(アイスティ)」という屋号で活動するお二人のロゴが入った試作品のアロマオイル



大友瑞希さん

宮城県仙台市出身。アパレル店員、カフェの副店長の経験を経て、令和6年4月より地域おこし協力隊として活動。「香り×食」をテーマに新しい商品を開発中。

齋藤友希さん

福島県福島市出身。旅行会社勤務を経て、カフェ&シェアハウスを開業。令和6年4月より地域おこし協力隊の地域ブランド開発部門で活動しながら、イベントプロデュースを手掛ける。

No. 07 /

地域ブランド開発部門

さいとう ゆうき おおとも みずき
齋藤 友希さん、大友 瑞希さん

その後、カフェの経営から離れるタイミングで、地域ブランド開発部門の地域おこし協力隊の募集を知った二人は、これまでの経験や知識を活かせるのではないかと思い、応募をした。国見町は豊かな自然と食文化に恵まれ、生活の質が高く、「丁寧な暮らし」のイメージがあると話す二人。この「丁寧な暮らし」を五感で感じられるものと捉え、その中でも「嗅覚」、つまり「香り」に注目した。町内の植物を活用して「香り」がテーマの商品開発を考えている。

大学卒業後、旅行会社で営業やイベント企画、添乗員業務など多岐にわたる経験を積んだのち、福島市でカフェ&シェアハウスを開業した齋藤さん。一方、アパレル店員として勤務していた大友さんは、接客で培ったコミュニケーション能力を活かし、齋藤さんが経営するカフェの副店長として、メニュー開発から調理まで担当していた。カフェ経営を通じて、「お店づくりはまちづくりそのもの」という考えに至った二人は、藤田駅前のみちづくりに興味を持ち、町が主催する「エリアデザインラボ」に参加。このイベントをきっかけに地域活性化への関心を深めていった。




香りの特徴を嗅ぎわけながら、理想の香りを試作中

齋藤さんは、町内で採れる植物を蒸留し、香りを抽出してオリジナルのアロマオイルを作り、それを基にハンドソープなどのアメニティを開発中。日常生活の中で国見町の香りを楽しめる商品を提供したいと意気込んでいる。大友さんは、蒸留過程で得られる香り付きの蒸留水を活用した食品の開発を模索しており、国見町産の素材を使った新しい切り口での商品開発を進めている。


二人の挑戦は始まったばかり。これまでの経験と情熱を武器に、国見町の新たな魅力を創出し、多くの人々に届く日が待ち遠しい。

Future: **ミライのハナシ** —私がこの町でやりたいこと—



開発した商品の販売やワークショップを開催できる活動拠点をもちたい

地域おこし協力隊の任期終了後も国見町で活動するために、小さくてもいいので拠点を作りたと思っています。



▲活動内容はコチラ

一枚写真で入選

広報紙部門では「佳作」を受賞



親しみやすい広報へ

第70回県市町村広報コンクールの一枚写真部門において県内二位となる入選を受賞し、広報紙（町村部）部門では、「広報くにも8月号」が県内三位となる佳作を受賞しました。

同コンクールは、令和6年に発行された広報媒体（応募総数95点38市町村）を対象に実施され、「広報くにも」は4年連続の受賞となりました。

この受賞は、日頃から取材にご協力いただいている皆さんのおかげです。心より感謝申し上げます。「広報に孫が載って、たくさんの人に声をかけてもらったよ」「今月号の表紙良かったよ」と、広報紙の発行後にうれしいお言葉をかけていただくこともありました。今後、町の皆さんの輝く姿や笑顔をお届けし、より多くの方に手に取っていただける広報くにもを目指しますので、引き続きご協力をお願いします。

春は異動の季節です

大事な手続き忘れずに!!

就職や転勤、入学などで住所が変わる場合は、届出が必要です。この時期は、窓口が混み合いますので、時間に余裕を持ってお早めの手続きをお願いします。 ☎ 住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115



届出内容	届出に必要なもの	届出期限
転入届 町内へ引越したとき	・転出証明書（前住所地で発行したもの） ・国民年金手帳・介護保険受給資格証（資格者のみ） ・小中学生がいる場合は在学証明書 ・マイナンバーカード	引越した日から14日以内
転出届 町外へ引越すとき	・国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証（加入者のみ） ・印鑑登録証 ・マイナンバーカード・子ども医療受給資格者証	転出する前まで
転居届 町内で住所を変更したとき	・国民健康保険証、後期高齢者医療保険証、介護保険証（加入者のみ） ・マイナンバーカード ・子ども医療受給資格者証	転居した日から14日以内

・転出届はマイナポータルを通じたオンラインでも可能です。オンラインでの転出手続きは役場への来庁が不要です。
 ・対象は、電子証明書が有効なマイナンバーカードをお持ちの方。（国内の引越しに限りです）
 ・ご自身での引越しのほか、同一世帯の方の引越しでも利用可能です。
 ※オンライン提出をした後は、別途転入先市区町村の窓口で転入届の提出が必要です。

▲詳細はコチラ

届出は本人か世帯主、または同じ世帯の方が行ってください。本人か世帯主、または同じ世帯の方が手続きできない場合は、代理人の印鑑が必要です。 ※同一家族で世帯分離されている方は委任状が必要です。

CHECK 他の手続きも忘れずに!

住所が変わると住所変更の届出以外にも、上下水道、医療保険、納税などの手続きも必要です。詳しくは以下の担当課へお問い合わせください。

各種手続きの問い合わせ先

- 住民異動届、戸籍、住民票、印鑑登録**
住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115
- 戸別受信機**
住民防災課危機管理係 ☎ 585-2158
- ごみ収集、犬の登録**
住民防災課生活交通係 ☎ 585-2116
- 子ども医療、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療**
ほけん課国保係 ☎ 585-2785

- 障がい者福祉、生活保護**
福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793
- 高齢者福祉、介護保険**
福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125
- 児童手当、母子手帳**
福祉課子育て支援係 ☎ 585-2179
- 納税**
税務課収納係 ☎ 585-2780
- 上下水道**
上下水道課上下水道係 ☎ 585-299
- 保育所、幼稚園、小・中学校**
教育総務課総務係 ☎ 585-2892
(観月台文化センター内)

「言いたい」けど「言えない」をなくす

町民意見箱

広く国見町政全般にわたるご意見を伺い、町政に反映させるために「町民意見箱」を設置しました。お寄せいただいた意見や要望について、氏名住所を記載いただいた方には郵送、メール等で回答します。

設置場所 国見町役場（1Fアカマツ広場）、観月台文化センター（1Fロビー）

こんなことがあったら気軽に意見箱を利用してください。

- 良いアイデアがあるから聞いてほしい
- 改善してほしいことがある
- こんなことに困っている
- こうしたら国見町がもっとよくなるのでは
- こんなところを改善してほしい など

メールでのご意見はこちらから



あなたの声をお聞かせください



以下の場合には返答いたしかねますのでご了承ください

- ・誹謗、中傷に類するもの
- ・住所、氏名のないもの
- ・政治活動・宗教活動に類するもの
- ・趣旨が不明確であるもの
- ・同一または類似意見の繰り返しであるもの
- ・その他、意見や提案として取り扱うのが適当ではないもの

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



Vol.93

岩手県平泉町「南部神楽鑑賞会」で太々神楽を披露

岩手県南部から宮城県北部にかけて、セリフのある芝居仕立ての神楽が数多く創作され「南部神楽（なんぶかぐら）」と呼ばれています。

国見町とつながりの深い平泉町では、毎年南部神楽を伝承する団体が神楽を披露する鑑賞会が開催されます。今年は、本町の内谷春日神社の太々神楽が招待され、「小弓（こゆみ）」「日本武（やまとたける）」「三人太刀（さんにんたち）」の3演目を公演しました。激しく曲芸的な所作のある太々神楽の特徴を、若い楽人たちが披露しました。



▲三人太刀を披露する楽人

国見町の食文化 鳥取福源寺の「南蛮味噌」

鳥取集落では、「福源寺地藏庵観音堂」（町指定有形文化財（建造物））を、地域の女性が中心の「観音様を守る会」（観音講）が守り、巡礼者をもてなす「お接待」の文化が現在も残るなど、貴重な歴史文化遺産が多く継承されています。

その福源寺で、護持会役員と「六尺班^{*}」の男性による「南蛮味噌」づくりが、毎年1月中旬に実施する「念仏講」の前日に行われています。

翌日の念仏講には、町外も含めた多くの檀家が集まり1年間の無病息災を願いながら、この味噌や地元の手料理を楽しみ、その様子が地域の風物詩となっています。地域の風習を守りながら、町内外の人々の結びつきも感じられる法会には、大切に受け継がれてきた国見町の食文化がありました。



▲男性陣だけで作る「南蛮味噌」



▲念仏講では数珠まわしも行われました

- 【作り方】 ①しぼり豆腐（36丁）を加熱して水分をとばし、油を加えた後、すり鉢に移しすりつぶします。
（概略） ②約8.5kgの味噌を焦げないよう鍋で加熱し、油、砂糖（三温糖1kg・白砂糖2kg）、ほんだしを加え、よく混ぜ合わせます。
③豆腐が入ったすり鉢に、②の味噌と唐辛子900gを加え、滑らかになるまですり鉢で混ぜ合わせたら完成です。この作業を朝から半日かけて行い、辛味の強い南蛮味噌100軒分が出来上がります。

ろくしゃくはん 六尺班 … 町内会の檀家を8班に編成し、毎年輪番で南蛮味噌づくりを担当する班をいいます。「六尺」とは、かつて土葬を行っていた時代に、棺を納める穴（深さ約1.8m=6尺）を掘る人足をいい、あらかじめその役割を割り振るために六尺班は存在しました。そのため、血縁者が葬儀になっても機能するように互いに親類関係のない男性で構成されていましたが、現在もその慣習のまま編成されています。当時から南蛮味噌づくりは行われていたようですが、土葬が禁止されて以降も六尺班の役割として残っているものです。

これから就活を迎えるあなたへ

地元で見つけた、

わたしのしごと。

Vol.7



最高品質を届ける—

株式会社 エアウィーブ 福島工場

くまがい みずき
熊谷 瑞貴 さん（3年目）

— 入社のきっかけは？

きっかけは、新聞広告を見たことです。それまでエアウィーブを知らなかったのですが、調べていくうちに地元の国見町に工場があることを知りました。仕事をするなら、人の生活に携わる仕事がいいかなと思っている時に、「眠りの世界に品質を」という理念を掲げるエアウィーブと出会い、勝手に運命を感じ、入社しました。アルバイトで接客業の経験はありましたが、違う業種を経験してみたいと思っていたことも大きかったです。

— 仕事内容は？

ベッドマットレスや枕の素材の「エアファイバー」をカバーに被せる組付工程を担当しています。1日200～300個ほど組付けしています。

お客様に不良品が届かないよう、集中を切らさないことを意識して取り組んでいます。

— 大変なことは？

製品の種類が多いため、作業手順を覚えることが大変です。そのような中でも、同世代の社員ばかりなので、気軽に話せて、分からないことは教え合いながら日々業務に励んでいます。

就活中は、悩みや迷いが絶えないと思います。私もそうでした。「何ができるのか」ではなく「何をやりたいか、何に興味があるのか」を一番に考えて、失敗を恐れず、思い切ってその道に挑戦してほしいです。たとえ上手くいかなくても、挑戦したこと自体がいい経験になると思います。後悔のない選択をしてほしいです。

就活生へメッセージ



▲作業のコツを教える熊谷さん（右） ▲工場内にこだわりのマットレスを展示

株式会社エアウィーブ 福島工場

マットレスパットから始まり、寝具全般に至る総合寝具メーカーです。福島工場では20～30代の方が多く活躍しています。新卒入社の方には定期的に面談を行い、フォローアップ体制や教育体制が充実しています。

- 設置 2021年 ●従業員 56名 ●住所 国見町大字山崎字小林西 11-4
- 事業内容 寝具等の製造

宝くじの助成で地域活性化 コミュニティ活動で使用する設備を導入

貝田町内会では、宝くじのコミュニティ助成事業を活用し、地区のイベントなどで使用する音響セットや照明器具、発電機などを整備しました。これらの備品は、貝田地区の地域活性化、地域に誇りを持つ次世代の子どもたちの育成につながることを目的とした事業に使用されます。宝くじの助成金は、住民が自主的に行うコミュニティ活動に活用できます。宝くじ助成金の活用をぜひご検討ください。



お祭りなどの地域事業に活用されます

次世代の農業リーダーに期待 阿部 郁さんが県青年農業士に認定

福島県農業士に認定された阿部郁さん(大木戸)が2月6日、国見町役場を訪れ村上利通町長に認定の報告をしました。青年農業士とは、40歳未満で次世代の農業者の育成や資質向上に貢献する青年農業者のことで、阿部さんは桃やあんぼ柿などの果樹を中心に家族で農業経営をしています。青年農業士となった阿部さんは、「まだまだ未熟ですが、地域の農業に貢献していきたい」と抱負を述べました。



認定の報告で来庁した阿部郁さん(右)

元気に長生きしてください 後藤フキさん 100歳のお祝い

100歳を迎えた後藤フキさんへの県知事賀寿と町敬老祝金の贈呈式が2月10日、国見の里で行われました。福島県県北保健福祉事務所小谷尚克所長から知事賀寿と記念品、村上利通町長から敬老祝金、町社会福祉協議会寺島長司会長と国見の里堀切伸一理事長がそれぞれ花束を手渡し、後藤さんの100歳をご家族と一緒に祝いました。いつまでもお元気でお過ごしください。



100歳を迎えた後藤フキさん

「ふるさとづくり大賞」受賞報告 株式会社家守舎桃ノ音の上神田健太さんが来庁

ふるさとづくり大賞の総務大臣表彰を受賞された株式会社家守舎桃ノ音の上神田健太代表取締役が2月13日、国見町役場を訪れ、受賞の報告をしました。株式会社家守舎桃ノ音は、JR藤田駅周辺で飲食店やシェアオフィスが入った複合施設や住宅地、宿泊施設などを整備し、事業者の誘致や移住者の増加に寄与した功績が評価され、今回の受賞となりました。



受賞報告で来庁した上神田健太さん



内堀知事に取り組みを発表する伊藤愛隊員

県知事と地域おこし協力隊が交流 福島県知事と地域おこし協力隊が意見交換

内堀雅雄福島県知事が1月22日に複合施設「アカリ」を訪れ、町地域おこし協力隊らと意見交換をしました。関係人口創出事業「クニミノマド」の岡野希春さん、公営塾ハルの鈴木涼太さん、町地域おこし協力隊の伊藤愛さんがこれまでの経緯や現在の活動内容を発表。内堀知事はそれぞれ発表に聞き入り、質問や提案のやり取りが何度も行われ、今後の活動にエールを送りました。

災害時の支援拡大 国見町土木建設業協会と災害協定を締結

町と町土木建設業協会は1月23日、「災害時における応急対策業務の支援に関する協定」の支援範囲の拡大に伴う締結を行いました。この協定は、災害時の資機材や動員を確保し、道路などの早期復旧を目的に、平成28年11月に締結。今回の協定では、支援範囲に「避難施設」が加わり、避難施設における非常用電源の確保などの取り決めを交わしました。



協定を取り交わした町土木建設業協会の皆さん



旧佐藤家住宅(藤田)で放水訓練を行う消防団員の皆さん

まちのたからものを火災から守る 「文化財防火デー」で消防団が放水訓練

1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、国見町消防団(佐藤博之団長)は、文化財に指定された建物の火災を想定した放水訓練を町内5か所で行いました。団員は日頃の訓練の成果を発揮し、正確で機敏な動きで放水作業を行っていました。団員たちは火災発生時の備えを再確認するとともに、文化財を未来へ伝えていくための誓いを新たにしました。

震災復興や町商業の発展に貢献 叙勲伝達式

叙勲伝達式が2月4日に国見町役場で行われ、元国見町議会議員の東海林一樹さんが旭日双光章を受章されました。東海林さんは、平成7年に町議会議員に初当選し、平成27年から令和5年まで議長の要職を担われました。また、平成10年から平成24年まで町商工会長を歴任し、町商業の発展をけん引されました。震災復興や町商業の発展に大きく貢献した功績が認められての受章となりました。



旭日双光章を受章する東海林一樹さん(左)



Kunimi's Baby

国見町で生まれた赤ちゃんです！

あべ はるき
阿部 悠希 くん (R6.11.22生)

【名前の由来】

おらかな気持ちでゆっくりとマイペースに自分の人生を歩んでほしい。悠希の一生が明るい未来や希望に満ち溢れ、輝かしいものになるようお願いを込めて。

【ご家族からのメッセージ】

元気に生まれてきてくれてありがとう。これからたくさんお出かけして楽しい思い出をいっぱい作ろうね！



子育てインフォメーション

3か月児・9か月児健診

- 日 時 5月22日(日) 午後1時30分～午後3時30分ごろ
- 受付 午後1時20分～午後1時30分
- 会場 観月台文化センター
- 対象者 3か月児健診 令和6年12月～令和7年1月生まれ
9か月児健診 令和6年6月～7月生まれ

赤ちゃんふれあい体験講座

- 妊婦体験や赤ちゃん・お母さんとのふれあいをとおして、命の大切さを学びます。
- 日 時 3月25日(日) 午後2時～午後3時30分
 - 会場 観月台文化センター 第1和室
 - 対象者 中学1・2年生
 - 申込み 福祉課子育て支援係まで (☎ 585-2179)
3月18日(日)締切

ニコニコ相談会

- 日 時 5月14日(日) 午前10時～午前11時30分
- 会場 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者 国見町在住の妊婦、国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み 前日までに福祉課子育て支援係または藤田保育所 (☎ 585-2374) へ連絡

ももさぼLINE相談

- 保健師、助産師、管理栄養士などの専門職員がどんな些細なことでもお答えします！お気軽にご相談ください。
- 受付 月曜日から金曜日
午前9時から午後5時



相談はコチラ /



子育て情報
をお届け！

今月の対象は

出産まで → 新生児 → 乳幼児 → 小・中学生

☎ こども家庭センター(福祉課子育て支援係内) ☎ 585-2179

母子手帳アプリ「母子モ」 配信スタート！



妊娠から出産・育児までをフルサポート。母子手帳アプリ「母子モ」なら、複雑な予防接種時期や国見町からのお知らせが手元のスマートフォンに通知されて便利です。町では3月17日(日)から提供を開始します。ぜひご活用ください。



▲ダウンロードはこちら

妊娠中の体調管理も



妊婦健診や歯科検診の結果を記録したり、妊娠中の体重をグラフ化して管理することができます。

忘れがちな予防接種もアプリで管理



生年月日や予防接種歴を登録するだけで、自動で接種できるワクチンと最適な接種時期が表示されます。接種予定日が近づくと、事前にアプリにお知らせが届くので忘れず安心です。

お子さんの成長を記録



お子さんの発育を簡単に記録し、自動でグラフ化。「できたよ記念日」など成長の記録を写真付きで残し、家族で共有できます。

子育て情報が手元に届く



町からの妊娠・出産や子育てに関するお知らせやイベント情報をアプリで簡単に確認できます。

※「母子モ」は、紙の母子手帳に代わるものではありませんので、乳幼児健診や予防接種等の際には必ず紙の母子手帳をお持ちください。

伊達地域で活躍する医師から“健康ひと言アドバイス”

あなたの大切な腎臓を守ろう

慢性腎臓病は、自覚症状がないまま進行し、気付いたときには腎機能が大幅に低下しています。定期的な健康診断や血液・尿検査を受けましょう。早期に異常を発見し、生活習慣の改善や適切な治療によって、進行を抑えることができます。大切な腎臓を守るために、予防と早期発見を心がけましょう。



(医) すぎき医院 佐藤 正 先生

毎月19日は「みんなで食べる国見の日」

町では毎月19日を「みんなで食べる国見の日」とし、家庭や地域で受け継がれた料理を食べるよう推奨しています。国見町食卓鑑から今月のおすすめメニューはこちら！

「味ごはん」——お彼岸にはぼたもちと合わせていただきます——



国見町では、中日に「ぼたもち」、彼岸入りと送りに「味ごはん」をいただくご家庭が多いです。

【材料 (5人前)】

お米……………2合
油揚げ……………1枚
ごぼう……………2/3本

人参……………1/2本
しいたけ……………2枚
まいたけ……………50g

【煮汁】

だし汁……………300ml
みりん……………大さじ1
しょう油……………大さじ2

【作り方】

- ①お米以外の具材を火のとおりやすい大きさに切り、煮汁をすべて鍋に入れ、具材に味がしみるまで煮る。
- ②炊飯釜にお米を入れた後、①の煮汁、水の順に入れ、ひと混ぜしてから、具材を入れて炊飯する。

院長先生の診察室から

【第40回】



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

3月になり、春の足音が聞こえてくる季節となりました。卒業、進学、就職など、人生が大きく変化する時期です。インフルエンザの流行はピークを過ぎ、コロナ感染症は小康状態のようです。

毎年春になると花粉症が話題となります。花粉症は、スギやヒノキ等の花粉が原因となって起こるアレルギー性疾患です。花粉が鼻や目に入ると、免疫系が過剰に反応して、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、充血などの症状が出ます。仕事や勉強に差し障りが出て困りますね。日本では約3000万人が罹患していると推定されています。今年

の花粉飛散量は例年に比べると全国的に多い予測です。東北地方南部では2月末から飛散が始まり、福島県は昨年比で2倍になると報告されています。

対策としては、マスク、眼鏡の使用、規則正しい生活（アルコールは控える）、帰宅後のうがいと洗顔、家に花粉を持ち込まない工夫、窓を開けるときのレースのカーテンを閉める、部屋の掃除などがあります。花粉症の薬は、症状が出る前や花粉が飛散する2週間前から飲み始めるのが良いでしょう。抗ヒスタミン剤には、第1世代と第2世代があり、後者が副作用（眠気、口渇など）が少なくお勧めです。医療機関や薬局でご相談ください。私も、20年前に花粉症となり、時々薬にお世話になっています。花粉症は仕事の能率を下げ、生活の質が低下しますので、しっかり対策をしましょう。

ほけんだより

— Health topics —

問 ほけん課 保健係 ☎ 585-2783

✉ hoken@town.kunimi.fukushima.jp

第33回「歯っぴいライフ8020」認定者

福島県と県歯科医師会は、80歳以上で歯が20本以上ある人をたたえる「歯っぴいライフ8020」の認定者を発表しました。今年度、町からは8名の方が認定されました。

功績をたたえて1月28日に表彰式が国見町役場で行われ、表彰状と記念品が贈呈されました。認定された皆さん、おめでとうございます。



玉木 實彦さん 菊池 勝雄さん 齋藤 紀子さん 阿部 トヨさん

8020 認定者

阿部 トヨ さん
太田 喜代 さん
菊池 勝雄 さん
齋藤 紀子 さん
齋藤 洋次 さん
佐藤 キン さん
玉木 實彦 さん
三木 節子 さん

8020 運動とは？

「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。永久歯は28本（親知らずを除き）ありますが、このうち少なくとも20本以上自分の歯があることでほとんどの食べ物を噛み砕くことができ、おいしく食べられると言われています。

認定者の皆さんに聞きました！ ～歯っぴいライフを送るために～

【認定者の皆さんが実践していること】

- ・歯磨きは毎日4回しています（食後と就寝前）
- ・歯ブラシの他に歯間ブラシを使用しています
- ・定期的に歯科医院に通っています
- ・電動歯ブラシを使っています
- ・歌ったり、友人とお話するなど、よく口を動かしています



歯っぴいライフ POINT

歯の健診を受けること

さまざまな歯の健康の秘訣を教えてくださいましたが、認定者の皆さんに共通していたことは、2～3か月に1回は歯の定期健診を受けていることでした。かかりつけの歯科医をもち、定期的な健診を受けることで歯の健康を保つことができているようです。歯科医は専門的な歯の清掃だけでなく、お口の健康に関する相談も行ってくれますので、自分では気づけないお口や歯のトラブルの早期発見にもつながります。



図書館へ行こう

後期「大人の文学講座」を開催しました

福島大学人間発達文化学類教授 井実充史さんを講師に迎え、後期の大人の文学講座「清少納言と定子中宮一枕草子を読む」が1月22日に開講しました。全3回の講座には、各回とも約35名が参加し、真剣な表情で講話に耳を傾けました。解説の中で、大河ドラマ「光る君へ」の話題もあり、参加者は物語の背景に触れながら文学の知識を深めました。



子ども司書講座「おはなし会をしよう・閉講式」



第8回子ども司書講座「おはなし会をしよう・閉講式」が2月22日、観月台文化センターで福島子どもの本を広める会の瓶子美千子先生を講師に迎え行われました。

第1部の子ども司書受講生による「おはなし会」では、練習の成果を発揮し約40名の参加者の前で読み聞かせや「わらべうた」を披露しました。第2部は子ども司書による紙芝居や絵本かるたが行われ、笑顔あふれる楽しいおはなし会となりました。

閉講式では、全ての講座を履修した4名の受講生に、図書館長から「子ども司書認定書」が授与されました。

Art & Sports Life ~文化・スポーツ情報~

新春の知恵を競う

第32回町長杯新春囲碁・将棋大会

第32回町長杯新春囲碁・将棋大会が2月2日に開催され、囲碁の部と将棋の部合わせて22名が参加しました。参加者は町の囲碁同好会や将棋同好会に所属している方が多く、静かで熱い戦いが繰り広げられました。

囲碁の部は村上健一さん、将棋の部は大野重好さんが優勝し、優勝杯が贈呈されました。



健康的なスポーツ活動のために

国見町体育協会スポーツクリニック

国見町体育協会は2月9日、いがり整形外科スポーツクリニックの大戸明文先生を講師に迎え、スポーツクリニックを開催しました。ケガの基礎知識や予防方法、アイシングについてご講演いただき、ストレッチやトレーニング、マッサージの実技体験をしました。参加者は、ケガなくスポーツができるようにと、熱心に話を聞いていました。



観月台文化センター使用休止のお知らせ

- ・ホール、第1和室、第2和室、楽屋
3月1日(土)~31日(日)
- ・大研修室 3月17日(日)~21日(金)



くみに観月台カレッジ学習発表会

くみに観月台カレッジ学習発表会が1月24日、観月台文化センターホールをメインに開催されました。7つのグループのステージ発表、ホールロビーでは作品展示と全体学習、3学級、15グループの活動紹介のパネル展示が行われました。当日は受講生以外も含め200名ほどが来場して会場は大いに盛り上がり、楽しい発表会となりました。

令和7年度くみに観月台カレッジ受講生募集!

学びたいものを選び、1年をとおして学習します。

- 対象者 町内在住の20歳以上の方
- 申込期間 3月4日(火)~3月31日(日)
- 申込み 国見町公民館(観月台文化センター内)

▶ Lifelong-Learning

生涯学習通信

国見町教育委員会生涯学習課(観月台文化センター)
☎ 585-2676 Fax585-2707
E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp



国見っ子わんぱく広場 閉所式・思い出すごろく

国見っ子わんぱく広場の今年度最後の活動が2月15日に行われ、1年間の活動を振り返る「思い出すごろく」を行いました。12班に分かれてサイコロを振り、イベントマスの制覇を目指しました。保護者も参加し、「風船つき」や「国見民話かるた」などに挑戦しました。

閉所式では代表児童3人が、「さまざまな活動ができて楽しかった」と感想を発表し、1年間の活動を締めくくりました。



少年仲間づくり教室 閉講式・サイエンスショー

2月8日、少年仲間づくり教室の今年度最後の活動「閉講式・サイエンスショー」が行われました。

サイエンスショーでは、ムシテックワールドから講師を迎え、液体窒素を使った実験を行いました。液体窒素にお湯を注いで白い煙が発生すると、教室生からは歓声が上がりました。

閉講式では、楽しく学んだ全10回の活動をみんなで振り返りました。



少年仲間づくり教室 移動教室 ヤクルト福島工場見学

少年仲間づくり教室第9回活動が1月25日に行われ、ヤクルト福島工場を見学しました。

社員の方の案内のもと、ヤクルトの歴史や工場について学び、商品の生産工程の見学をしました。生産工程見学では、普段見れない光景に教室生は目をキラキラさせながら夢中で見ていました。またエアシャワー体験では、風の勢いに驚いていました。

お知らせ

2025ミスピースキ
ヤンペーンクルー募集

福島のおだもとの魅力をあなたの笑顔で全国に届けませんか？

- ▼応募資格 ①から③の全てを満たす方。
①18歳以上で心身ともに健康な方（男女不問。高校生は除く）
②県内に居住又は在勤・在学し、福島市役所やPR場所等に通勤可能な方。
③繁忙期（7月から8月）に月7日程度、PR活動に従事できる方。

- ▼採用人数 10名以内
▼応募期間 3月1日（日）から4月8日（日）※正午必着
▼応募方法 福島県くだもの消費拡大委員会ホームページの応募フォームをご覧ください。

- ▼募集説明会（日時）4月19日（日）（場所）コラッセふくしま ※活動内容の説明や現役クルーが皆さんの質問にお答えします。ホームページより事前申込制。
▼選考会 4月19日（日）コラッセふくしま※詳細は応募者に通知します。
■福島県くだもの消費拡大委員会（福島市役所農業振興課内）
☎529-7663
FAX533-2725



▲福島県くだもの消費拡大委員会 HP

自衛官募集

令和7年度入隊の自衛官の採用試験を実施します。

【自衛官候補生】

- ▼応募資格 18歳以上33歳未満の者
▼募集期間 年間を通じて受付
▼試験日程 受付時又はホームページにてお知らせ
■防衛省自衛隊福島地方協力本部福島募集案内所
☎545-7995



▲自衛官募集 HP

河川愛護モニター募集

河川愛護モニターを募集します。

- ▼モニター期間 令和7年7月1日から1年間
▼定員など 1人 20歳以上で担当区間付近に居住の方
▼区間 阿武隈川（梁川大橋から徳江大橋）及び広瀬川（阿武隈川合流点付近から阿武隈急行・広瀬川橋梁付近）
▼業務内容 巡回による不法投棄などの情報収集、地域住民の要望収集、川を愛

する心の普及啓発、担当全区間における月1回の巡視状況報告
▼申込方法 5月9日（金）必着で履歴書（写真添付）を郵送してください。
▼問い合わせ・申込先 千960-8584
福島市黒岩字榎平36
福島河川国道事務所河川管理課
☎539-6129

国道4号福島北道路の道路計画に関するアンケート調査

福島市北部から桑折町の国道4号の道路計画の検討にあたり、アンケート調査を実施しています。皆さんのご意見をお聞かせください。
アンケート回答方法は次の2つの方法があります。
①はがきでの回答
3月中旬に各家庭へ本調査のはがき回答票を郵送します。はがき回答票に付いているはがきに記入し、お近くの郵便ポストもしくは役場や道の駅等に設置している回収ボックスに投函し



▲インターネット回答はこちら

アンケートの回答期限は4月30日（日）までとなります。ご協力のほど、よろしくお願い致します。
■国土交通省東北地方整備局 福島河川国道事務所調査課
☎539-6128

国税専門官採用試験

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる国税専門官を募集しています。
国の財政を支える国税専門官に、あなたもチャレンジしてみませんか？
▼受験資格
①平成7年4月2日から平成16年4月1日生まれの者

- ②平成16年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
(1)大学（短大を除く）を卒業した者及び令和8年3月までに大学を卒業する見込みの者
(2)人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者
▼受験申込受付期間 2月20日（日）から3月24日（日）まで
▼受験申込方法 受験申し込みはインターネット申し込みとする。
国家公務員試験採用情報NAVI
(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)
▼第1次試験日 5月25日（日）
■仙台国税局人事第二課試験研修係
☎022-263-1111
(内線3236)
■人事院東北事務局
☎022-221-2022



▲国税庁 HP

マイナンバーカードの更新手続きをお忘れなく！

マイナンバーカードは作成から5年目と10年目にそれぞれ更新手続きが必要です。それぞれ更新年のお誕生日の3か月前に、マイナンバーカードの発行機関である地方公共団体情報システム機構より通知が届きます。通知が届きましたら、住民防災課戸籍係へお越しください。（一部オンライン手続きも可能です）

5年目の手続き

- 電子証明書の更新
マイナンバーカード作成時15歳以上の方
■マイナンバーカードの更新
マイナンバーカード作成時18歳未満の方
(有効期限:18歳未満の方はカード作成後5回目の誕生日まで)

更新時の持ち物

有効期限通知書、マイナンバーカード、暗証番号の控え

10年目の手続き

- マイナンバーカードの更新
マイナンバーカード作成時18歳以上の方
(有効期限:18歳以上の方はカード発行後10回目の誕生日まで)

役場窓口でのマイナンバーカード更新手続きは、無料で写真撮影し、申請までサポートします！写真の準備が不要になるので、安心・便利です！



■住民防災課戸籍係 ☎585-2115

悩みを抱えていたら相談してみませんか？

3月は「自殺対策強化月間」です。就職や進学、転勤や転居など生活環境が大きく変わり、精神的負担が大きくなる時期です。からだの健康と同様に、こころの健康を保つことはとても大切なことです。ひとりで抱え込まずに、安心して相談してください。相談は無料で秘密は固く守ります。

相談機関・相談窓口	連絡先	相談受付時間
こころの健康相談統一ダイヤル	☎0570-064-556	月～金 午前9時～午後5時 午後6時30分～午後10時 ※祝休日・年末年始を除く
福島いのちの電話	☎536-4343	毎日 午前10時～午後10時 ※毎月第3土曜日は午後10時～翌日午前10時
	☎0120-783-556	毎日 午後4時～午後9時 毎月10日 午前8時～翌日午前8時
岩手・宮城・福島専用よりそいホットライン	☎0120-279-226	24時間 365日
県精神保健福祉センター	☎535-3556	月～金 午前8時30分～午後5時15分 ※祝休日・年末年始を除く
県北保健福祉事務所	☎534-4300	

■福祉課社会福祉係 ☎585-2793

3/7 金	・広報くにみ 3月号発行 ・いきいきサロン川内（午前10時～） 第4（午後1時30分～）
8 土	・子ども司書の日
9 日	・マイナンバーカード休日臨時窓口（事前予約制） ・公営塾放課後塾ハル「クニミノホマレ」 ・スポーツ少年団活動体験会
10 月	
11 火	・1歳6か月児健診 ・移動図書館（3年生）創作活動
12 水	・いきいきサロン第3（午後1時30分～） ・大人の文学講座
13 木	・いきいきサロン藤田（午前10時～） 耕谷（午後1時30分～） ・心配ごと相談（午前9時～正午） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで） ・県北中学校卒業式
14 金	・いきいきサロン第8・9（午後1時30分～）
15 土	・藤田保育所修了式
16 日	
17 月	・いきいきサロン第2（午前10時～） 泉田下（午後1時30分～）
18 火	・いきいきサロン山根（午前10時～） 徳北・第7（午後1時30分～） ・くにみ幼稚園卒園式
19 水	・いきいきサロン第1（午後1時30分～） ・ニコニコ相談会
20 木	・春分の日
21 金	・いきいきサロン大木戸（午後1時30分～） ・国見小学校卒業式
22 土	
23 日	・結婚世話やき人月例相談会（午後1時～午後3時）
24 月	・いきいきサロン板橋（午前10時～）
25 火	・いきいきサロン石母田（午後1時30分～） ・赤ちゃん心れあい体験講座
26 水	・いきいきサロン貝田（午後1時30分～） ・いきいきサロン泉田中（午前10時～） 大枝（午後1時30分～）
27 木	・3か月児・9か月児健診 ・心配ごと相談（午前9時～正午） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで） ・ブックスタート
28 金	・いきいきサロン源宗山（午前10時～） 光明寺（午後1時30分～）
29 土	
30 日	
31 月	・いきいきサロン高城（午後1時30分～）
4/1 火	・いきいきサロン内谷・鳥取（午後1時30分～）
2 水	・いきいきサロン太田川・小坂（午後1時30分～）
3 木	・いきいきサロン塚野目（午後1時30分～） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）
4 金	・いきいきサロン第4（午後1時30分～）
5 土	
6 日	
7 月	・いきいきサロン川内（午後1時30分～） ・観月台文化センター休館日
8 火	
9 水	・いきいきサロン第3（午後1時30分～）
10 木	・いきいきサロン耕谷（午前10時～） 藤田（午後1時30分～） ・戸籍係窓口延長（午後7時まで）

4月の休日当番医（診療時間：午前9時～午後5時）

当番日	医療機関名	電話番号
6 日(日)	(医) 大山クリニック (伊達市北後 13-1)	☎ 583-2136
13 日(日)	(医) かしの木内科クリニック (伊達市岡前 20-6)	☎ 551-1411
20 日(日)	ゆう愛クリニック (伊達市霊山町掛田字西裏 49-1)	☎ 586-1315
27 日(日)	(医) おの整形外科クリニック (伊達市梁川町字西土橋 120)	☎ 527-1055
29 日(休)	(医) 神岡クリニック (伊達市霊山町掛田字中町 11-1)	☎ 586-1318

【休日救急歯科診療】（日・祝）
受付時間：午前9時から午後4時30分まで
場所：福島市保健福祉センター（福島市森合町10番1号）
※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

1月21日～2月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 誕生おめでとう ●

- 松田 みづき ちゃん（山崎小館）
弘樹さん めぐみさん
- 石川 ^{たいら} 太菜 ちゃん（第4）
純平さん 優子さん

● 結婚おめでとう ●

- 佐藤 勇輝さん（築館）
三津間 愛さん

● おくやみ申し上げます ●

- | | |
|------------------|-------------------|
| 関根 一いさん 92（山根） | 佐藤 昭次さん 89（第4） |
| 斎藤 敬子さん 72（山崎耕谷） | 宍戸シズエさん 93（第1） |
| 岩城 妙子さん 83（大町南） | 高橋 義美さん 87（鳥取） |
| 遠藤 サダさん 94（光明寺） | 佐藤 勝伊さん 89（大坂） |
| 佐藤 富子さん 83（泉田上） | 高橋 宏二さん 86（板橋南） |
| 菅野 宏昭さん 49（鳥取） | 後藤ウメ子さん 89（第8） |
| 高橋 和雄さん 95（大坂） | 渋谷 成郎さん 95（光明寺） |
| 佐藤 和子さん 71（宮町南） | 宍戸 光子さん 100（石母田北） |
| 徳江 のぶさん 99（第7） | 長尾フミ子さん 82（滝山） |
| 實沢 勝範さん 80（第9） | 安藤 良夫さん 74（滝山） |
| 高橋 政味さん 84（宮町北） | 倉田 トキさん 99（上野） |

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和7年1月31日現在

※住民基本台帳人口（前月比）

人口	8,085（-10）	転入	13（-9）
男	3,917（±0）	転出	13（-5）
女	4,168（-10）	出生	4（+2）
世帯	3,377（-6）	死亡	14（+2）

固定資産税課税台帳の閲覧と土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧

固定資産税課税台帳の閲覧と土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧を次のとおり行います。なお、令和7年度の固定資産税納税通知書は4月中旬（11日頃）に発送予定です。

区分	固定資産税課税台帳の閲覧	土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧
制度の内容	自己の所有する土地・家屋について、課税台帳に記載された内容を確認することができます。	町内の土地・家屋と比較して、自己の土地・家屋の評価額が適正であるか確認することができます。
閲覧・縦覧できる方	① 納税義務者 ② 納税管理者 ③ 借地人・借家人 ④ 当該固定資産を処分する権利を有する一定の方 ⑤ ①から④の委任状を持参した方	① 納税義務者 ② 納税管理人 ③ ①から②の委任状を持参した方
閲覧・縦覧期間	4月1日から翌年3月31日 午前8時30分から午後5時15分（土・日・祝日・年末年始を除く）	4月1日から4月30日まで
必要なもの	① 申請人（窓口においでの方）であることを証明できるもの 例）個人番号カード、運転免許証、健康保険証等 ② 借地人・借家人等は契約書、処分する権利を有する一定の方はそれを証する書類	① 申請人（窓口においでの方）であることを証明するもの 例）個人番号カード、運転免許証、健康保険証等
手数料	1件 300円（納税義務者は4月30日まで無料）	無料

☎ 税務課課税係 ☎ 585-2778

もう一度チェック 納め忘れはありませんか？

町税等に納め忘れがあると、督促や催告を受けるだけでなく、延滞金や財産の調査・差押が行われるリスクがあります。都度納付する手間を減らし、うっかり忘れをしないためにも、納付は「口座振替」が大変便利です。

今月の納期限は3月31日(月)

- 口座振替をご利用の方は、前日までに預金残高を確認してください。再振替は行っていないのでご注意ください。
- 口座振替のお申込みは、通帳印不要の「ペイジー口座振替受付サービス」をご利用になれます。
※一部利用できないキャッシュカードがあります。
- 町税や上下水道使用料は、バーコードを読み込んで、コンビニやスマートフォン決済アプリからも納付が可能です。
- QRコードが印刷されている町税の納付書は、「地方税お支払サイト」からクレジットカード等の電子納付ができます。また、金融機関の一部店舗ではATMで納付ができます。

国見町結婚世話やき人月例相談会

- ◆ 日 時 3月23日(日) 午後1時から午後3時
 - ◆ 場 所 観月台文化センター 2階 第2会議室
- ※秘密は厳守、相談無料です。

☎ 福祉課子育て支援係 ☎ 585-2179

広告掲載

広告掲載

夢に向かって

困難を楽しめるタフな人になりたい——

すがの あさひ
菅野 朝陽 さん (県北中3年)

第35回

私の将来の夢は、具体的に決まっていますが、どんな困難にも負けずに、その困難を楽しめるタフな人になりたいです。精神的にも肉体的にも強い人間になり、周りから頼られる存在でありたいです。中学時代から始めたバスケットボールを高校でも続けて、精神力と体力を鍛えていきたいと思っています。

今は、体力が落ちないように定期的にランニングやバスケットボールをしています。

私は、運動することと同じくらいものづくりが好きなので、建設業と製造業に興味があります。好きな分野に進む

ことで、困難なことも乗り越えられると思いますし、楽しいと思える時が多いような気がします。

私は、あまり緊張しないタイプで、物事を冷静に判断できることが強みです。部活動では、チームの状況に応じた声かけを心がけてきました。チームが緊張している時は、笑顔になれる言動でチームメイトをリラックスさせたり、士気が下がっているときは、励ましの言葉で鼓舞するなど、チームを引っ張ってきました。将来、社会に出た時は、チームを支え、引っ張っていける存在になりたいです。そのためには、何事も前向きに捉えて楽しむことが大事だと思うので、この姿勢を忘れずに、これからも努力していきたいと思っています。

国見の民話

かるた

【第二十三回】

猫のしかえし

【猫打つな 死んでたたるぞ いつまでも】



昔、阿武隈川をはさんで仲の良い女性同士がいて、年に一度お互いの家を訪ね合っていた。

ある年、川向こうの友達を訪ねると、友達は大喜びで魚をご馳走しようと支度を始めた。すると、その家の猫が準備した魚をあつという間に食べてしまいい、客の女性は思わず、力一杯にその猫を叩いてしまった。すると、猫は「よくもおれのことを叩いたな、帰りに喰い殺してやる」と客の女性が帰るのを待っていた。

客の女性はなかなか帰らないので、猫はひと休みしていたら、いつの間にか客の女性がいないなり、猫は急いで、客の女性が

乗る舟に飛び乗ろうとしたが、乗り損ねて溺れてしまった…。

次の年、客の女性が再び友達を訪ねると、どじょう汁を準備してくれた。だが、そのどじょう汁は煮ても煮ても泡が立つ。客の女性は不気味がつて食べなかつた。次の年は竹の子を煮たが、これも泡が立ち、客の女性は食べなかつた。

ある日、客の女性は巫女さんに拜んでもらうと、あの時叩いた猫の霊が出てきた。猫は「お前を殺そうと、どじょう汁と竹の子に化けたのに…」と言いつつ悔しがっていた。その後、猫を供養して、客の女性は命拾いした。